

## 平成30年度 英語が好きになる学校づくり事業 取組報告書

事務所名	宮古教育事務所	学校名	山田町立豊間根中学校	TEL	0193-86-2411
------	---------	-----	------------	-----	--------------

『英語で主体的に表現しようとする児童・生徒の育成～表現したいことに寄り添う指導を通して～』

### 【ねらい】

生徒は英語の授業に対しては意欲的に取り組んでいるが、日頃から自分が考えていたり、思っていたりすることを表現する場面において消極的な面が見られる。また、既習事項がほぼ定着しているにもかかわらず、自信を持って表現しようとする場面が少ない。英語が得意・不得意にかかわらず自分の気持ちを自由に表現しようとする生徒を育てるためには、授業の中で考える時間を確保したり、既習事項を思い出させたり、予想して物事を考えさせたりする時間が必要である。また教師側はそれに寄り添いきめ細かに指導をすることで、間違いを気にせず自由自在に英語を使おうとしたり、表現しようとしたりする生徒像に近づくことができると考えている。そのためにも、授業づくりの工夫、教師の英語力向上、学びに向かう環境づくりを大切にして指導に当たっていくことが現時点での課題である。

### 【具体的な取組】

#### (1) 「表現したいことに寄り添う指導」を柱とした授業実践・異文化交流

「寄り添う」の定義を小中学校で共通して「相手意識」「目的意識」「必然性」、中学校ではさらに発達段階を考慮して「自分のこと、本当のこと」を定義に加えて指導を行った。同地区の小中学校で授業交流をすることで、地区の生徒の特性である「消極的な面」の改善を目標に、小中で連携し継続して指導をしている。特に、「寄り添う」とは、生徒の実態に応じて小中それぞれの立場で考え、表現する場面において「日頃から自分が考えていたり、思っていたりすることを少しでも英語で表現しようとする生徒の育成を図るために個に応じた支援を教師が行うこと」と捉えた。

山田町には外国人ALTの他に日本人のALTが今春から在籍している。日本人ALTのアドバイスもあり、以前青年海外協力隊で勤めていた中南米ホンジュラスの同年代の生徒たちと絵で交流を図ることができた。ホンジュラスでは絵の具の文化がないため、本校生徒には豊間根地区の風景画や学校で取り組んでいる伝統芸能の様子を絵の具を用いて描かせ、お互いの文化の違いに触れる一つのきっかけにしたいと考えた。その後は、2年生で職場体験から学んだことや自分の夢について、3年生では日本の文化である七夕、節分やおやつ(タイ焼き)、温泉について英作文を用いて紹介を行った。これらの紹介は、インターネット電話を用いた授業の中でその内容を発信すると共に、ホンジュラスの生活、文化についての紹介を受けることを通して互いの文化を学ぶことができた。



【インターネット電話を用いた授業の様子】



【ホンジュラスへ送付した本校生徒の作品】

## 【インターネット授業を受けた生徒の感想から】

○今日人生で初めて地球の裏側の自分たちと同じくらいの年の人たちと話をした。言葉は全然わからなかったけど、ホンジュラスの人たちと会話できたことに意味があると思う。言葉は全然わからなかったけど、ホンジュラスの人たちと会話できたことに意味があると思う。向こうの人はとても明るかった。それに、長い休みの日には仕事すると言っていた人たちもいた。とても感心した。僕たちは休みと言ったらゲームと言っていた。少し恥ずかしかった。なので、僕たちも休みの日に家族に貢献できることをしたいと思った。

○僕は最初映像でつながった時に緊張してリアクションできなかった。でも、ホンジュラスの人はニコニコしていてすごいと思った。ホンジュラスの人から出た質問が僕たちと同じようなことに興味があることが分かって面白かった。

○私は発表する担当で、とても緊張したけど、ホンジュラスの人も同じ学校の人も集中して聞いてくれて嬉しかったです。ホンジュラスの人も同じ学校の人も集中して聞いてくれて嬉しかったです。ホンジュラスの人は帰ると仕事をするそうです。疲れているのにすごいと思いました。質問をし合ったり、同じ話題で言葉は違っても話せたのがとても嬉しかったです。また、機会があったらぜひ話したいと思いました。

## (2) 英語学習に臨むための環境づくり

英語教室を使用し、既習事項を掲示するなどして常に英語に触れることができる環境づくりをしていることで生徒の意欲を高めようと工夫した。

## (3) 全校で英語検定受験

昨年度から町の補助を受けて英語検定を全校で受験している。回数を重ねるたびに卒業までに3級を取得するという目標に向かって学習を進め、目標級取得へ向けての意欲も高まっている。

取り組みの一つとして帯活動を利用して1番の問題に取り組んだり、PCを活用した英語検定の過去問題に取り組んだり、英作文指導をALTと行ったりしている。これらの活動も合格率の向上につながっていると思われる。

## (4) 小・中共通実践

ア 共通テーマの設定（生徒の実態から）

イ 小学校校内研究会への参加

ウ 相互交流授業の実践

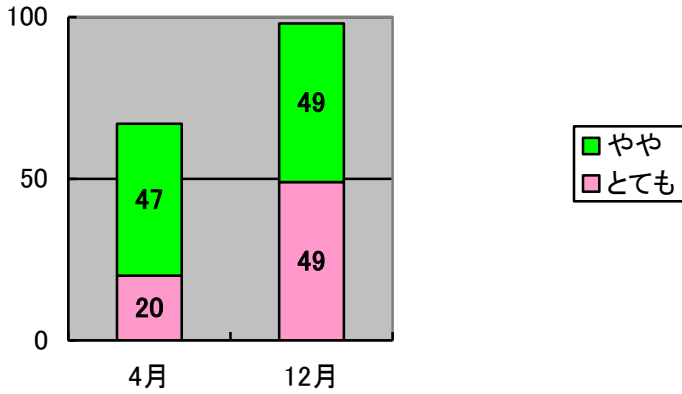
## (5) 岩手の授業づくり3つの視点に基づく授業構想

『ア 学習の見通し「見通す」、イ 学習課題を解決するための学習活動「学ぶ」、ウ 学習の振り返り「振り返る』に基づいた授業構想を考え、指導した。英語の学習に意欲的に取り組む生徒像を意識して、帯学習では「英語の歌」や「Q&A活動」、「ペア学習」、「英検の問題」、「スピーチ」などを取り入れて授業構想を行った。また、「振り返り」ではその時間のゴールにたいして「Good/Bad/Next」の項目を設けて振り返りをし、次時の授業や家庭学習と連動させるようにした。

Reflection Sheet 英語科 振り返りシート				
No.		Name		
Date	Program	Today's Goal	Evaluation	Impressions
			A B C	Good
				Bad
				Next

## 【成果】

- ・小・中相互の実践交流を通して、授業技術や方法の共有を行い、小中連携を意識した上で自らの授業力向上につなげることができた。
- ・英語授業に対するアンケート「英語の授業に意欲的に取り組んだと思うか」という質問に対して、「とても」(前回比+29ポイント)「やや」(同+2ポイント)と答えた生徒の割合が増加しており、英語の授業に対する意欲の高まりを確認することができた。

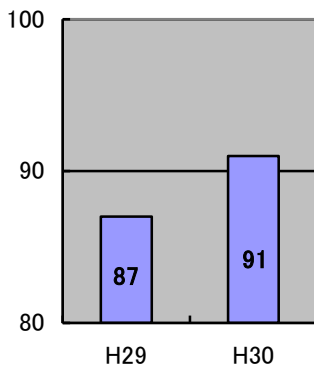


### ＜生徒のコメント＞

- ・ペアの人と学習してお互い教え合うこともできたし、英語でコミュニケーションをとろうとすることで英語を身近に感じることができた。
- ・英語の歌を歌うことで発音やリスニングの勉強にもなり授業に向けてやる気が出た。
- ・Q&Aを楽しくできたし、目標を持って活動できた。

### ・英語の授業に対する態度の生徒意識変化

同アンケート「英語の授業が分かる」という質問に対して、肯定的回答をした生徒の割合が90%以上であり、学習活動を通してその成果を生徒がしっかりと確認していることが分かった。



### ＜生徒のコメント＞

- ・授業で習った単語を覚えて本文をしっかりと理解できるようにした。
- ・英検合格に向けて、家ではあまりできないリスニングやライティングの練習ができた。
- ・音読練習を頑張った成果として、インターネット電話を用いた授業で外国の人にしっかりとスピーチできた。